



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 三櫻工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6584 URL <http://www.sanoh.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 竹田 陽三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務管理部長

(氏名) 篠原 良幸

TEL 0280-33-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	35,226	△13.2	1,020	△75.2	811	△78.3	390	△80.3
23年3月期第2四半期	40,605	28.2	4,112	228.1	3,744	205.0	1,976	208.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △14百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 1,686百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10.66	—
23年3月期第2四半期	56.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	64,607	36,678	53.7
23年3月期	67,720	37,323	52.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 34,669百万円 23年3月期 35,252百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.50	—	9.50	19.00
24年3月期	—	9.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,800	△5.0	3,600	△45.6	3,100	△50.0	1,100	△65.7	30.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	37,112,000 株	23年3月期	37,112,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	715,602 株	23年3月期	430,895 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	36,599,667 株	23年3月期2Q	35,146,047 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、日本では、東日本大震災の影響により落ち込んだ生産活動が徐々に持ち直しつつある一方で、急激な円高の進行などにより、依然として厳しい状況が続いております。海外では、新興国を中心に景気の拡大傾向が続いているものの、米国での景気減速や欧州での金融不安などにより、先行きへの不透明感が増しております。

このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、期前半の自動車メーカーによる減産が大きく影響し、前年同期と比べて生産が大幅に減少いたしました。

その結果、売上高は、352億26百万円（前年同期比13.2%減少）となりました。利益面につきましては、前期から取り組んできた構造改革によるコスト削減を継続してまいりました。しかしながら、売上の減少が大きく影響し、経常利益は8億11百万円（前年同期比78.3%減少）、四半期純利益は3億90百万円（前年同期比80.3%減少）と、大幅な減益となりました。

製品別では、車輛配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレイジング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）及び車輛安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も、前年同期と比べて売上げが減少いたしました。

なお、当社では、従業員による東日本大震災の被災地（岩手県下閉伊郡山田町）へのボランティア活動及び被災地での支援物資の配布などの支援を行ってまいりました。被災地支援活動につきましては一定期間取り組んでまいります。当第2四半期連結累計期間における復興支援費用は約13百万円であります。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

3月に発生した東日本大震災の影響により、取引先自動車メーカー各社からの受注が減少いたしました結果、売上高は185億57百万円（前年同期比17.2%減少）、営業利益は8億8百万円（前年同期比65.8%減少）と減収減益となりました。

#### ②北米・中南米

取引先自動車メーカー各社からの受注の減少により、売上高は82億30百万円（前年同期比14.8%減少）、50百万円の営業損失（前年同期営業利益8億40百万円）となりました。

#### ③アジア

タイ、インドをはじめとする東南アジアにおける自動車市場は引き続き堅調に推移いたしました。円高による為替等の影響を受け、売上高は44億51百万円（前年同期比2.5%減少）、営業利益は4億92百万円（前年同期比27.3%減少）となりました。

#### ④中国

中国自動車市場は引き続き堅調に推移いたしました。円高による為替等の影響を受け、売上高は24億85百万円（前年同期比5.4%減少）、営業利益は28百万円（前年同期比92.1%減少）となりました。

#### ⑤欧州

取引先自動車メーカーからの受注が増加したことにより、売上高は15億2百万円（前年同期比12.8%増加）となりましたが、49百万円の営業損失（前年同期65百万円の営業損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は646億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて31億13百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少28億5百万円、売上債権の減少18億51百万円、たな卸資産の増加10億37百万円、有形固定資産の増加7億98百万円、繰延税金資産の増加4億64百万円等であります。

負債合計は279億29百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億68百万円減少しました。主な要因は仕入債務の減少36億89百万円、短期借入金の増加10億78百万円、未払法人税等の減少5億円等であります。

純資産は366億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億45百万円減少しました。主な要因はその他有価証券評価差額金の減少4億78百万円、四半期純利益による増加3億90百万円、配当金支払による減少3億48百万円、自己株式の取得による減少2億円等であります。

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が8億9百万円、減価償却費が19億81百万円、売上債権の減少による資金増が17億77百万円、たな卸資産の増加による資金減が11億19百万円、仕入債務の減少による資金減が35億98百万円、法人税等の支払による資金減が9億60百万円あったことなどにより、2億41百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が28億24百万円あったことなどにより、29億59百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入の増加による収入11億45百万円、長期借入金の返済による支出1億35百万円、配当金の支払による減少3億48百万円、自己株式の取得による支出2億円などにより、3億78百万円の収入となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末と比較して28億5百万円減少し、91億34百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

日本では、東日本大震災の影響により落ち込んだ生産活動が急回復しておりますが、かつてない円高の定着などにより、依然として厳しい状況が続くものと予想されます。海外では、新興国では景気拡大傾向が見込まれるものの、米国の景気減速や欧州の金融不安が懸念材料となり、世界経済の先行きが不透明な状況が続くものと予想されます。

また、タイ国で、10月に発生した洪水の影響が、取引先自動車メーカーの生産活動に出始めております。

このような状況を踏まえ、平成23年6月22日発表の平成24年3月期の通期業績予想を以下の通り修正いたします。

なお、平成23年10月20日付の「タイ国の洪水被害に関するお知らせ」で発表のとおり、当社子会社Able Sanoh Industries (1996) Co., Ltd.において、工場建屋への浸水被害が発生し、操業を停止しております。被害の詳細は判明しておりませんが、下期業績予想では、現時点で想定される影響額を織り込んでおります。

## 平成24年3月期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	77,900	3,900	3,800	2,000	54.52
今回修正予想(B)	75,800	3,600	3,100	1,100	30.05
増減額(B-A)	△2,100	△300	△700	△900	—
増減率(%)	△2.7	△7.7	△18.4	△45.0	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成23年3月期)	79,768	6,623	6,206	3,204	89.21

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,070	9,266
受取手形及び売掛金	13,347	11,496
商品及び製品	2,856	2,832
仕掛品	2,259	2,377
原材料及び貯蔵品	4,367	5,310
繰延税金資産	424	432
その他	1,384	1,359
流動資産合計	36,706	33,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,016	13,172
機械装置及び運搬具	39,836	40,830
工具、器具及び備品	6,252	6,635
土地	3,915	3,916
リース資産	199	221
建設仮勘定	1,389	1,806
減価償却累計額	△41,704	△42,880
減損損失累計額	△287	△287
有形固定資産合計	22,615	23,414
無形固定資産		
リース資産	113	98
その他	371	374
無形固定資産合計	484	472
投資その他の資産		
投資有価証券	4,968	4,174
繰延税金資産	2,438	2,894
その他	508	582
投資その他の資産合計	7,915	7,649
固定資産合計	31,014	31,535
資産合計	67,720	64,607

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,303	8,614
短期借入金	4,072	5,151
未払金	1,679	2,112
リース債務	82	81
未払法人税等	919	419
賞与引当金	669	693
製品保証引当金	315	285
その他	991	1,022
流動負債合計	21,029	18,376
固定負債		
長期借入金	1,927	1,792
リース債務	160	143
退職給付引当金	7,079	7,423
役員退職慰労引当金	202	195
固定負債合計	9,368	9,553
負債合計	30,397	27,929
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	30,669	30,711
自己株式	△276	△476
株主資本合計	36,871	36,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,418	940
繰延ヘッジ損益	△15	△9
為替換算調整勘定	△3,023	△2,975
その他の包括利益累計額合計	△1,619	△2,043
少数株主持分	2,071	2,008
純資産合計	37,323	36,678
負債純資産合計	67,720	64,607



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	40,605	35,226
売上原価	32,987	30,604
売上総利益	7,618	4,622
販売費及び一般管理費	3,506	3,602
営業利益	4,112	1,020
営業外収益		
受取利息	11	43
受取配当金	31	41
その他	129	84
営業外収益合計	171	169
営業外費用		
支払利息	125	108
為替差損	336	245
その他	79	25
営業外費用合計	540	378
経常利益	3,744	811
特別利益		
固定資産売却益	11	2
特別利益合計	11	2
特別損失		
前期損益修正損	86	—
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	137	3
投資有価証券評価損	74	—
減損損失	112	—
子会社清算損	190	—
特別損失合計	599	3
税金等調整前四半期純利益	3,156	809
法人税、住民税及び事業税	1,128	429
法人税等調整額	△121	△122
法人税等合計	1,006	307
少数株主損益調整前四半期純利益	2,150	502
少数株主利益	174	112
四半期純利益	1,976	390

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,150	502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228	△478
繰延ヘッジ損益	16	6
為替換算調整勘定	△252	△44
その他の包括利益合計	△464	△516
四半期包括利益	1,686	△14
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,585	△34
少数株主に係る四半期包括利益	101	20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,156	809
減価償却費	2,075	1,981
減損損失	112	—
のれん償却額	25	—
有形固定資産除却損	137	3
投資有価証券評価損益(△は益)	74	—
子会社清算損益(△は益)	190	—
受取利息及び受取配当金	△42	△85
支払利息	125	108
有形固定資産売却損益(△は益)	△11	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△632	1,777
たな卸資産の増減額(△は増加)	△854	△1,119
仕入債務の増減額(△は減少)	799	△3,598
その他	125	871
小計	5,280	746
利息及び配当金の受取額	42	85
利息の支払額	△124	△111
法人税等の支払額	△1,299	△960
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,899	△241
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,144	△2,824
有形固定資産の売却による収入	11	2
投資有価証券の取得による支出	△1,000	△8
その他	△34	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,167	△2,959
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,720	3,039
短期借入金の返済による支出	△3,828	△1,894
長期借入れによる収入	470	683
長期借入金の返済による支出	△463	△818
自己株式の取得による支出	△0	△200
自己株式の処分による収入	992	—
配当金の支払額	△316	△348
少数株主への配当金の支払額	△21	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445	378
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	159	△2,805
現金及び現金同等物の期首残高	9,313	11,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,472	9,134

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	22,424	9,659	1,331	2,628	4,563	40,605	—	40,605
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,615	62	—	163	—	6,840	△6,840	—
計	29,039	9,721	1,331	2,791	4,563	47,445	△6,840	40,605
セグメント利益 又は損失(△)	2,366	840	△65	356	677	4,174	△62	4,112

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△25百万円及びたな卸資産の調整額△45百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失に関する報告セグメント別情報)

(単位:百万円)

	日本	北南米	欧州	中国	アジア	合計
減損損失	112	—	—	—	—	112

(のれんの金額の重要な変動)  
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)  
該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	18,557	8,230	1,502	2,485	4,451	35,226	—	35,226
セグメント間 (2) の内部売上高 又は振替高	6,091	57	—	314	1	6,463	△6,463	—
計	24,649	8,287	1,502	2,799	4,451	41,689	△6,463	35,226
セグメント利益 又は損失(△)	808	△50	△49	28	492	1,229	△209	1,020

(注) 1. セグメント利益の調整額には、たな卸資産の調整額△217百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

平成23年10月にタイ国で発生した洪水により、連結子会社のエイブル サンオー インダストリーズ (1996) Co., Ltd.において、工場建屋への浸水被害が発生し、操業を停止しております。被害の詳細は判明しておらず、生産活動等に及ぼす影響、復旧に要する費用を含めた損害額は、現時点では確定しておりません。